

『アカデミック・ライティング入門：レポートの書き方』（第3版）補足資料

『アカデミック・ライティング入門：レポートの書き方』は、大阪府立大学での「初年次ゼミナール」の実施にあたり、大阪府立大学の学生がレポートを書く際に活用できるよう、2015年に初版が発行され、その後2度の改訂を経て現在に至ります。本冊子では、学術的なレポート作成の作法を説明していますが、府大生向けに作成されたものであることから、新大学である大阪公立大学では、一部、内容の読み替えが必要な箇所があります。現在、大阪公立大学版の冊子作成について検討を進めていますが、2023年度以降の公表となる見込みです。

大阪府立大学で作成した本冊子も、レポートの執筆や情報検索の方法を学び、アカデミック・ライティングスキルを修得するという観点から、大阪公立大学の学生にも有用ですので、ぜひ活用してください。

ただし、以下のページの記載については、大阪府立大学の運用とは異なっていますので、各自、ウェブサイト等で最新の情報をご確認ください。

p.9 「4.2.1 図書館の書物の利用」

大阪公立大学には、冊子に記載の図書館以外に、杉本キャンパスの学術情報総合センター、阿倍野キャンパスの医学分館もあります。大阪公立大学 OPAC の検索方法についても、大阪公立大学図書館ウェブサイトを確認してください。

p.10～11 「4.2.2 インターネット情報の利用」

大阪公立大学図書館が契約している各種データベースは、講習会の実施状況などは、ウェブサイトで確認してください。

学内設置の情報端末や無線 LAN の使用については、情報基盤センター発行の『情報環境利用ガイド』を確認してください。（URL…<https://www.omu.ac.jp/cii/info-guide/>）

p.16

大阪公立大学が包括ライセンス契約し、公大生が使用できるソフトウェアについては、『情報環境利用ガイド』を確認してください。

p.20 「参考図書・サイト」

研究公正に関する図書は、各キャンパスの図書館にて確認してください。

冊子掲載のリンクについて

(10) 大阪大学全学教育推進機構、阪大生のためのアカデミック・ライティング入門、第4版。

※2019年版はリンク切れ。以下のURLにて第4版4刷が閲覧できます。

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/71454/2022academicwriting.pdf>

(11) 早稲田大学ライティング・センター ※リンク切れ。

(13) SIST 科学技術情報流通技術基準、参考文献の役割と書き方

※リンク変更。https://jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdfにて閲覧できます。